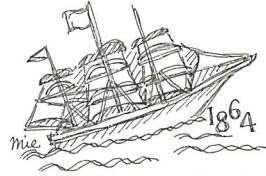


# DOSHISHA REPORT



リユニオン

11月7日10時

今出川キャンパス

創立記念礼拝

11月28日10時30分

同志社礼拝堂

早天祈祷会

11月29日7時

若王子山頂

創立135周年記念式

11月29日9時

大学神学館礼拝堂

○総合大会においてエレクトロニクス  
サイエンス学生奨励賞を受賞。

●同志社経済セミナー開催

10月15日、11月19日、12月17日

経済学部の教員を講師とし、担当講師の専門分野から最新のテーマを取り上げ毎月第3金曜日に開催。秋学期は、川越修教授、横井和彦准教授、郡嵩孝教授。

●文化情報学会講演会開催

10月20日、岡本安晴日本女子大学人間

社会学部心理学教授が「心理学とプロ

グラミング―数理の壁を越えて―」を、

11月16日には、京都大学人文科学研究所

准教授が「わが、カリスマ、不透明な身

体―音楽家の場合―」を京田辺校地夢告館

で講演。

●笠置町（京都府）との包括協定調印式

10月21日

連携協力に関する包括協定と環境省が選定する「低炭素地域づくり面的対策推進事業」の連携協力に関する覚書に調印。笠置町からは松本勇町長、石田春子議会議長、大学からは八田英二学長、片山傳生企画部長が調印式に出席。

●実験動物慰霊式

10月27日

学術研究を深めるための実験実習によ

## 法人部

●叙位叙勲

大学名誉教授那須頼雅氏が正五位瑞宝

中綬章を受章された。

●2010年秋の叙位・叙勲

社友、大学名誉教授松山義則氏が瑞宝重光章を受章され、11月5日皇居において伝達式が行われた。また、大学名誉教授齊藤勇氏、女子大学名誉教授鷺淵紹子氏が瑞宝中綬章を受章され、11月9日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●創立記念行事

## 大学

●同志社ハリスフォーラム2010開催

9月2日

京田辺校地恵道館において、現代の豊かで快適な文化生活を維持するため、有限のエネルギー資源を世界的規模で計画的、有効に利用する観点から「エネルギーセキュリティ」をテーマに学内外の研究者が話題を提供。

●電子情報通信学会賞受賞

9月5日

工学研究科電気電子工学専攻（超高周波工学研究室）乾晴恵さんの「スロット装荷パッチ素子を用いた有極形導波管フィルタ」の研究が、電気通信学会201

り、やむなく犠牲になった動物たちの命を追悼することを目的に医心館実験動物慰霊碑前で開催。主催は環境保全・実験実習支援センター。

### ●第37回外国文化週間

10月30日、11月5、9、12日  
テーマは、「Crossroads to the Future」。講演、コンサート、映画を京田辺校地の教室、ホールなどで開催。主催は、言語文化教育研究センター。

### ●「関西4大学学長フォーラム」開催

10月31日  
関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学が、読売新聞社とともに品川インターシティーホール（東京都港区）において「次代を担うリーダーを育てる」をテーマに開催。作家重松清氏の基調講演、在学生と重松氏によるトークセッション、日本バレーボール協会理事三屋裕子氏を交えた4大学学長によるパネルディスカッションほか入試相談会も開催。  
●グローバル・スタディーズ研究科連続セミナー「グローバル・ジャスティス」開催

10月20日、11月8、10、18日、12月6日  
現代世界が直面するさまざまな課題に

おける「ジャスティス（正義）」の問題を、講師自らの視点で語るセミナー。「ジャスティス」という言葉の持つ多義性や問題性も含めた多様な議論ができる場を提供。

### ●DOSHISHA Alumni Party in Dusseldorf 開催

11月15日  
EU圏に在住し、活躍する卒業生、校友との交流会。会場はHotel Nikko Dusseldorf。大学が計画する構想への理解を深め、教育・研究活動の積極的な国際展開を推進するために必要な協力を要請することを目的として開催。

### ●新技術説明会開催

11月26日  
科学技術振興機構JSTホール（東京都千代田区）において、情報、介護、セラミックス、電子材料、機械、バイオ分野でのライセンス可能な特許（未公開出願を含む）を発表。発明者自身が技術を説明し、実用化を展望すると共に、広く実施企業・共同研究パートナーを募集した。主催はリエゾンオフィスと独立行政法人科学技術振興機構。

### ●地域力再生学生宣言・シンポジウム開催

11月27日  
政策学部は、地域社会との交流を通じ

て学生が認識する学習効果や適切な地域との関わり方などを整理し、これからの教育に役立てることを目的に開催。学生の思いを地域社会に学生宣言として発信。基調講演は山内修一京都府副知事と中嶋春喜バリアフリー映画プロデューサー。

## 女子大学

### ●第60回シェイクスピア・プロダクション

11月5・6日  
今出川キャンパス栄光館において *Romeo and Juliet*（「ロミオとジュリエット」）を上演。英語英文学科4年次科目「Shakespeare Production III」の受講生による本公演は、3年次からの作品研究を含めた約2年間の集大成。キャストをはじめ、助監督、広報、照明、音響、衣装、メイク、セットまで学生たちの手によるもので、本公演（英語による原語上演）の日本語字幕の作成も学生たちが手がけている。

60回目となる今回の公演は、60年の歴史を感じながらも新たな演出の試みに挑戦するなど、試行錯誤を繰り返しながら

創りあげた舞台には、両日合わせて約1000人の来場者があった。

## ●現代社会学部創立10周年記念シンポジウム

11月6日

現代社会学部開設10周年を記念し、「女性として！社会人として！」をテーマにシンポジウムを頌啓館ホールにて開催。橋本俊昭大学経済学部教授・京都大学名誉教授を招き、著書の『女性格差』の内容にふれながら女性をめぐる現代社会の諸相についてご講演いただいた。その後、現代社会学部河野健男教授と三宅えり子准教授をコーディネーターとし、第1期卒業生5人によるパネルディスカッションを行った。テーマに沿って、卒業後の進路、現在の仕事や職場環境、ライフスタイルなどについて討論が繰り広げられた。来場者約200人。

## ●ホームカミングデー

11月7日

今年度は、中庭が整備された京田辺キャンパスで開催。午前の部は新島記念講堂にて開会礼拝、開会式の後、麗合寿女子大学名誉教授による講演「平清盛の母は祇園女御か？」を開催。午後は吉海直人表象文化学部日本語日本文学科教授によるミニ講義とかるた展示、競技かるた

部による実演、笠間浩幸現代社会学部現代こども学科教授によるミニ講義と学内の「こども砂場」でのワークショップが行われた。新島記念講堂にあるパイプオルガンの見学会、音楽学科学生によるコンサート、キャンパススタンプラリー、京田辺市の農産物販売、舞鶴市の海産物販売など、盛りだくさんのイベントが行われ、キャンパスは友人同士、家族連れなど約700人の参加者で賑わっていた。同窓会《Vineの会》との共催。

## ●奈良県立医科大学との学術交流に関する包括協定に基づく第4回シンポジウム

12月4日

「大和の医と薬の1300年」をテーマに奈良県立医科大学大講堂にて開催。3人のシンポジストよりそれぞれの専門分野の視点から発表が行われた。発表は以下の通り。榮井毅奈良県保健環境研究センターウィルス・細菌担当細菌チーム主任研究員「古の奈良と薬の所縁」、小西天二女子大学薬学部教授（生薬学）「現代に生きる正倉院薬物」、古家仁奈良県立医科大学医学部教授（麻酔科学）「痛みと漢方」来場者約200人。

## 中高

### ●始業式

9月1日

中学移転後の最初の始業式をグレイスチャペルで執り行った。新しい施設で気持ちを新たに、新キャンパスでの学校生活を始めることができた。

### ●高等学校 ウェスリー交換留学生来校

9月11～25日

オーストラリア・メルボルンのウェスリーカレッジから交換留学生を迎え、ともに学校生活を楽しんだ。7月から8月にかけて本校高校生がオーストラリアで経験したことと同じく、ウェスリーカレッジの生徒たちにとつて異文化を経験する貴重なひとときになった。

### ●中学校 体育祭

9月22日

南グラウンドを会場に、移転後初の全校行事として体育祭を行った。広いグラウンドいっぱいには生徒の歓声がこだましていた。

### ●高等学校 体育祭

9月29日

天候が心配されたが、高等学校の体育祭も無事に行うことができた。生徒会役員を中心に体育祭を運営し、全校生が楽しく一日を過ごした。

● **中学校 学園祭** 9月29日～10月1日

2、3年生は京都都会館で演劇発表、1年生は教室や魁ホールを使って映像や演劇発表を行った。今出川から岩倉へとつながる中学校をモチーフに「マイクローアト」の作成にも取り組んだ。

● **高等学校 岩倉祭**

10月2～4日

宿志館が竣工し、初めての岩倉祭を行った。グレイスチャペルにステージを組み、照明機材や幕も設置して本格的なステージを作り演劇発表を行った。礼拝堂が素晴らしい演劇空間となり、高校生の躍動する演技に満ち溢れていた。

● **高等学校 人権学習**

10月26日

各所から講師をお迎えして学びのひとときを持った。

● **中学校・高等学校 秋季宗教週間**

11月8～12日

学内4中高合同の行事として宗教週間を守った。各地から講師の先生をお招きして生徒教職員ともに学びのひとときを過ごした。

● **中学校 人権行事**

11月12日

学年ごとにテーマを設定して人権について学ぶ機会を持った。3年生は「進路を考える会」を合わせて実施し、将来の

自分を見つめるひとときを持った。

● **終業式**

高等学校 12月10日、中学校 12月17日 終業式とともにクリスマス礼拝を守り、主の降誕の意味を考えながら喜びを分かち合った。

● **岩倉キャンパスクリスマス**

12月20日

小中高の児童と生徒が中心になってクリスマスを祝う礼拝を行った。保護者や近隣住民の皆さんほか多くの方をお迎えして、新しくなったチャペルで最初のクリスマスを共に祝った。

● **中学校 スキーキャンプ**

12月22～25日

3年生の冬の宿泊行事を行った。希望制で、沖繩またはスキーのいずれかを選び参加するが、3年生のほとんどが参加している。参加した生徒は、沖繩の歴史や現在についての学びやスキーやスノーボードの技術向上を図りながら、仲間との交流を深めた。

## 女子中高

● **芸術鑑賞**

6月28日

今年度は、京都コンサートホールで京

都市交響楽団の演奏を聴いた。鑑賞に先立ってオーケストラによる伴奏のもと、「讚美歌Ⅱ編66番」を讚美し、礼拝をも

つてプログラムはスタートした。曲目は、ベートーヴェン・ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」とドヴォルザーク・交響曲第9番ホ短調「新世界より」。指揮は大山平一郎氏、ピアノはブルーノ・レオナルド・ゲルバー氏。至福の時を堪能した。

● **イギリス語学研修**

7月25日～8月8日

高校2・3年生30人を対象に、ベルスクール・ケンブリッジ校にて研修を行った。現地では午前・午後の集中レッスンを軸に、ホームステイを通して家庭生活を体験。文化や生活習慣の異なる人々を通して、相互理解と国際交流の大切さを実感した。

● **オーストラリア語学研修**

7月27日～8月6日

中学2・3年生25人を対象に、オーストラリア南部のアデレードにあるキリスト教主義の女子高、アネスリー・カレッジの全面協力のもと、研修を行った。研修に先立ってのオリエンテーション、ア

メリカ人講師による英語学習会、事後の体験記執筆等、研修参加者の能力を高めるための最大限のバックアップに努めている。

### ●修養会

9月18・19日  
同志社びわこリトリートセンターで中学2・3年生の修養会と高校修養会が同時に行われた。中学生は「明日を明るく生きるためには」をテーマに、金伽耶先生（本校聖書科講師）を講師に、高校生は「You are not alone!」をテーマに富田正樹先生（香里中高聖書科）を講師に迎えた。それぞれに厳肅な礼拝を守り、学年を超えて親しく語り合う機会を持つことができた。

### ●体育祭

9月28日  
昨年は新型インフルエンザの影響で中止となった。今年は天候にも恵まれ、100m走、障害物競争、綱引き、仮装競演、応援合戦、またクラス対抗リレーやアイデア溢れる各種の競技に大奮闘。中1から高3までがクラスの団結と勝利の栄冠を目指して大いに盛り上がった。

### ●文化祭・バザー

9月29日～10月2日  
今年度のテーマは「Handsome Ladies Festival」。夏休み前から練習を重ねてき

た合唱コンクールやクラス展示、クラブ発表、有志による展示、ライブなど、多様な催しが展開された。戦前からの歴史があるバザーも、幼稚園・同窓会・本校父母の会の協賛により、本年も多数の来客を迎え、盛大に開催された。

### ●収穫感謝の日礼拝

11月12日  
果物・野菜等の収穫物を生徒・教職員が家庭から持ち寄り、金伽耶先生を講師に迎え、礼拝を行った。午後からは寄せられたたくさんのお収穫物・献金を持って、養護施設や老人ホームなどを訪問し、園児やお年寄りとの交流のひとつを持った。

### ●クリスマスページェント

12月17日  
午前の部では、全校の生徒・教職員がページェントを通して主のご降誕をお祝いした。午後の部では、卒業生や保護者、一般の方々、そして招待した京都老人ホームのみなさんと共に、クリスマス礼拝を守った。生徒・教職員と当日参加の方々から寄せられたクリスマス献金は、全国の福祉関係の施設・事業所にお送りした。

## 国際中高

### ●オープンスクール

7月3日

本校を希望する受験生のためのオープンスクール・学校説明会を開催した。

### ●高校リトリートキャンプ

7月20～22日

宗教センター主催のリトリートキャンプを、同志社びわこリトリートセンターで実施した。近江兄弟社学園ヴォーリス平和礼拝堂での行事のほか、鯖江キャンパスで野外活動を行った。

### ●7月入学生補講

8月28～31日

7月編入生のための補講を実施した。

●始業式・7月入学生研修／校務オリエンテーション  
9月1日

7月入学生のために、学校生活をおくる上で必要な情報や教育方針を伝える研修・オリエンテーションを実施した。

### ●高校生バンド祭

9月11日

文化祭の出場バンド予選を兼ねた、高校生によるバンド祭が開催された。

### ●学園祭

9月22～27日

本校最大の行事である学園祭を開催した。期間中、22日には高校、24日には前日警報の発令により順延になった中学校が、それぞれ体育祭を行った。また26日には外来のお客様を迎え、文化祭を開催した。

### ●校内英語試験

10月15日  
在校生全員がTOEFL・実用英語検定のいずれかを選択し受験する校内英語試験を実施した。

### ●人権強調週間

10月22～28日  
中学、高校とも人権について礼拝・ホームルームで集中的に学ぶ週間を持った。27日には中学で映画『人間の街』を鑑賞。高校はひとり芝居の先駆的存在である新屋英子さんを迎え、「ヒミコ伝説」を鑑賞した。

### ●中学1・3年生体験学習

10月29・30日  
中学1年生は八千高原で、中学3年生が知多半島で体験学習を行った。

### ●校外学習

10月29日・11月19日  
中学は11月19日、高校は10月29日。新島記念講堂において、津軽三味線を鑑賞する校外学習を実施した。

### ●秋季宗教週間

11月8～12日  
週間中、外来の先生をお迎えし礼拝を守った。

### ●中学・高校生徒会選挙

11月17日  
中高ともに各1、2年生から新しい生徒会執行部を選出し、生徒会が新体制となった。

### ●高校アドベント礼拝

11月19日  
クリスマスに向けて、高校生が特別礼拝を守った。

### ●創立30周年記念行事

11月20日  
本校創立30周年の記念行事を行った。午前から卒業生を学校に招き、さまざまな催しを実施。夜はリーガロイヤルホテルで、パーティを開催した。退職をされた教職員や卒業生が多数参加し、創立時から今にいたるさまざまな思い出に、歓談のときを過ごした。

## 小学校

### ●1年宿泊体験学習

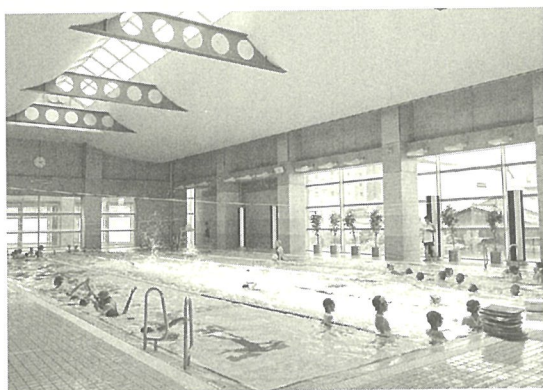
7月16・17日  
小学生になって初めての宿泊体験学習を小学校の校舎を使って実施した。昼は屋上で水鉄砲を使った遊びやみんなと一緒にゲームをして楽しく過ごした。夕方に突然降りだした雨のため、予定していたグラウンドでのキャンプファイヤーができず、アリーナで自作のランプシェードを使った集会に変更した。とても幻想的で、しかも盛り上がりた集会となった。子ども同士、教員と子どもたちの絆がより深くなった合宿であった。

### ●水泳教室

7月20～23日  
大学継志館内のプールで小学校としては初めての水泳教室を行った。泳力に応じて班を編成し、丁寧な指導を行ったためか、楽しみながらも、目みえて上達していく様子が見受けられた。友だちとともに泳ぐ楽しさを学んだ4日間でもあった。

### ●5年生宿泊体験学習

8月23～27日  
5年生は北海道函館の地で、「新島襄



継志館での水泳教室

海外渡航乗船之処」碑などゆかりの地を訪ね、良心教育について考える宿泊体験学習を行った。長沼町のファームステイでの農業体験、ルスツでのラフテイングでは大自然を満喫するなど充実した活動であった。様々な人との出会いも尊い体験となった。

### ●スポーツフェスティバル2010年

10月2日

今年も子どもたちを中心に、学校にかかわる全ての人が力を合わせ、成功裡に幕を閉じた。昨年までに比べ各段に進歩したのは、競技と競技の間の準備や片付けにかかる時間が短縮されたことだ。子どもたち一人ひとりが、今何をすべきか考えながら行動できるようになってきたからではないだろうか。初めての90人ピラミッドも成功した。来年のスポーツフェスティバルが今から待ち遠しい。

### ●チャレンジウィーク 11月15～20日

今年チャレンジしたことを紹介する。

1年「もくもくどうぶつぐも」、英語劇「大きなかぶ」2年「30人31脚」、英語劇「アイミー」3年「物語の世界を表現しよう」4年「チャレンジ京の食文化」5年「書道×パフォーマンスThe Live Message」

6年「ひろい世界へ(劇・呼びかけ・歌)」といった取り組みだった。どの学年も力いっぱいチャレンジであった。最終日の「チャレンジ交流会」では各学年がチャレンジしたことを紹介しあった。一人ひとりの頑張りに拍手を送りたい。

### ●収穫感謝礼拝および点灯式 11月22日

私たちに食べ物が与えられていることを神様に感謝することや自分だけでなく食べ物がいろいろな人に行き渡るようにとの祈りを込めながら、収穫感謝礼拝を行った。夕方、点灯式をチャペルコートで行った。ツリーの点灯とともに、イエス様の誕生を待つ心の準備を始めた。

## 幼稚園

### ●七夕発表会

7月7日

日常、讚美歌や表現あそびなどに親しむ園児たちが、幼稚園ホールで学年クラスごとに七夕発表を行った。ホールには多くの保護者が集うなか、年長児は5月から少しずつ取り組んできた木琴で、「あつまれファンファンファン」「楽しき農夫」などの曲を演奏した。

### ●お泊まり保育

7月9・10日

年長組園児30人が幼稚園に宿泊。恒例行事ではあるが、園児にとつては家族と離れ、初めてのお泊まりを経験する子どもが多い。ポディーペインティング、枳形商店街の七夕夜店、園庭での花火、教員手作りのパネルシアターなどのプログラムを楽しんだ。集合時には不安な表情も見られたが、友だちや教員と一緒に過ごし、友だちとより一層親しくなり、解散時には、自信をつけた表情で全員が揃い、無事に経験を積むことができた。

### ●夏期保育

8月25～27日

夏休み中の保育として、約1ヵ月ぶりに園児達が集まり、プールでの水遊びや絵の具遊び、色水あそびなど異年齢での保育(縦割り保育)を楽しんだ。

### ●ざくろ収穫

10月19日

園児達が楽しみにしている園庭の木「ざくろ」の収穫。木の周りに全員が集まり、教員が切り落とした実を下にいる園児がかごや素手で受ける楽しいひととき。木の上部には、教員の手や長枝鋏が届きにくく、園児達からは、「まだあるよ!頑張れ!」のメッセージが飛び交う白熱の瞬間。収穫後、種のまわりが甘酸っぱい果実を頬張るほほえましい姿が園

庭に溢れた。

### ●秋の遠足

9月24日

年少組から年長組までの全園児が大型バスに乗りアクトパル宇治（宇治市）へ。小川から飛びだすカエルを追いかけて、山の傾斜を利用した遊具などの環境を楽しみ、午後は木切れのキーホルダー作りを体験する。

### ●運動会

10月16日

女子中高グラウンドを今年も借用し、玉入れやダンス、親子競技などを楽しんだ。年長組のリレーでは、力いっぱい走る子どもたちに観客から応援の声があがった。全園児のダンス「世界にひとつだけの花」では、各学年の踊りで始まり、途中の見せ場である隊形移動では、6色のカラフルなTシャツごとに異年齢の縦割りグループに変化する場面も大成功を取めた。90人の園児が、一堂に踊り、観客からは大きな拍手が贈られ、多くの園児がはればれとした表情で閉会式を終えた。

### ●同志社女子部バザー

10月2日

昨年、新型インフルエンザの流行で中止となった歴史ある女子中高・同窓会との合同バザーが開催された。梅雨の頃か

ら、担当委員の保護者が中心となり、保護者の協力を得て手作り品、寄贈品の提供など、準備が重ねられてきた。寄贈品、模擬店などの当番は、全保護者の協力を得て無事終了することができた。

### ●収穫感謝祭

11月16日

家庭から持ち寄った果物や野菜を囲み、自然の恵みを神様に感謝し、全園児で収穫感謝礼拝を行った。

### ●秋の茶会

11月22日

年長組では保育の一環として茶道のお稽古を取り入れている。茶道で学んでいるおもてなしの心を、日頃お世話になっている皆さんに感謝の気持ちとして、お菓子をお運びし、お茶を点でてふるまっていた。今年も園庭での野点を予定したが、雨天の為、保育室での茶会となった。同志社今出川キャンパスの東端にある園まで参加いただいた皆様には感謝。お菓子を転がすハプニングも何度か起こったが、寛容に受け止めて頂き、多くの達成感を得ることができた。

### ●バプテスト病院訪問

12月4日

年長組がバプテスト病院を訪問し、クリスマス降誕劇を演じた。その後歌も歌って交流した。一年に一度の訪問では



「バプテスト病院訪問」園児がバプテスト病院内礼拝堂を訪問し降誕劇を演じる。

あるが、園児の持つ純粋な心が歌声となり、入院・入所者、看護学生の心に響き、涙を流してくださる方も多く、温かな交流が今年も持たせたことに感謝している。

### ●点灯式

12月14日

園内にある樅の木を囲み、点灯式がおこなわれた。園長の合図で、玄関横の樅の木に色とりどりの明かりが灯った。塔ノ段通りに面する樅の木は、近くを通られる地域の方にも喜んでいただく機会となっている。